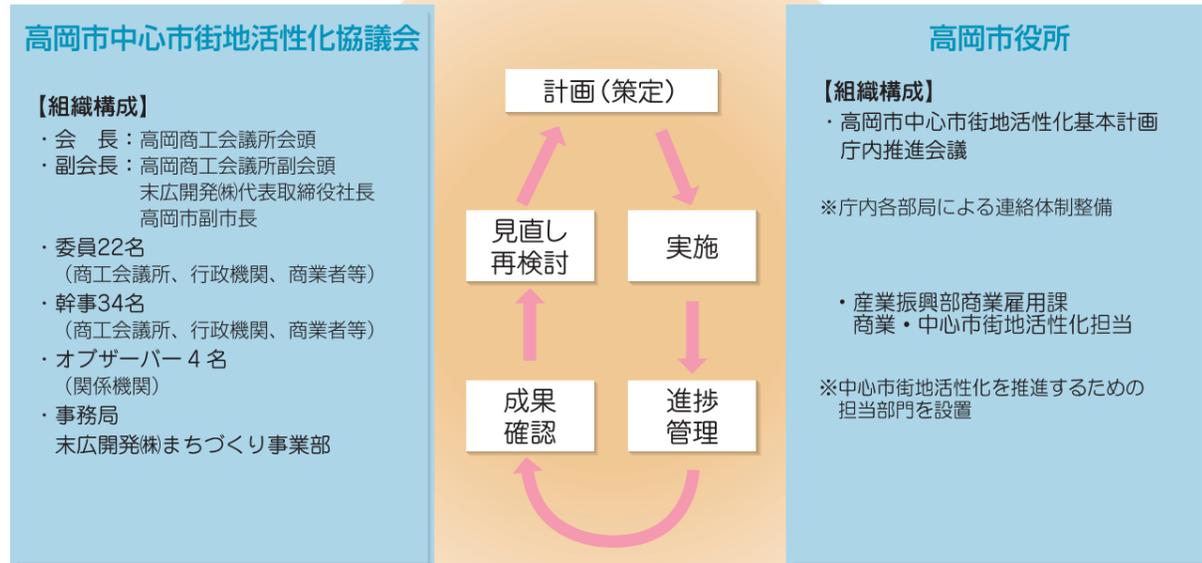


推進体制

1期計画の策定に合わせ、行政機関、商工会議所、商業者等で構成される「高岡市中心市街地活性化協議会」が設立されました。

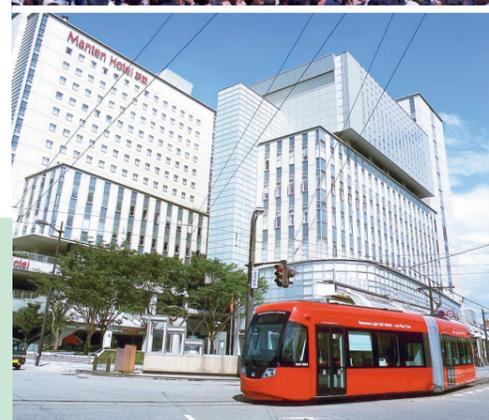
高岡市と同協議会との協働により、高岡市中心市街地活性化基本計画に基づく事業実施や進捗管理、事業効果の検証、事業のスクラップアンドビルドなど、総合的なフォローアップにより中心市街地の活性化を目指します。



第2期

高岡市中心市街地活性化基本計画の概要

～400年の資産を守り、育み、繋ぐ～



高岡市中心市街地活性化基本計画について

高岡市では、平成10年に制定された「中心市街地における市街地の整備改善及び商業等の活性化の一体的推進に関する法律」に基づく「高岡市中心市街地活性化基本計画」を、平成12年7月に策定しました。平成19年には、平成18年8月の「中心市街地の活性化に関する法律」施行を受けて、それまでの基本計画の見直しを図り、平成24年3月末までを計画期間とする基本計画を策定（平成19年11月内閣総理大臣認定）し、中心市街地活性化に向けた取り組みを推進してきました。

今回、基本計画の期間終了を受け、これまでの取り組みの成果や課題を踏まえながら、中心市街地の活性化をより強力に推進するための新たな基本計画（第2期高岡市中心市街地活性化基本計画）を策定しました。（平成24年3月内閣総理大臣認定）

平成24年3月

高岡市

高岡市産業振興部商業雇用課

〒933-8601 富山県高岡市広小路7番50号 TEL 0766-20-1591 FAX 0766-20-1496

中心市街地の現状と課題

JR高岡駅を中心とする市街地は、富山県西部地域最大の繁華街として、産業や行政の様々な都市機能を担い、「高岡の顔」として発展してきました。



本市では、平成 19 年 11 月に、高岡市中心市街地活性化基本計画に国の認定を受け、中心市街地活性化を積極的に推進してきました。

中心市街地には、瑞龍寺（国宝）、高岡古城公園〔高岡城跡〕（県指定文化財）や、高岡御車山祭（重要有形・無形民俗文化財）といった伝統行事など数多くの歴史・文化資産が集積しており、この資産を磨き、魅力を高めることで、まちなか交流人口の拡大を図ってきました。

また、まちなか居住促進施策に取り組むとともに、高岡駅周辺整備や学習・文化活動の拠点ウイング・ウイング高岡の運営、中心市街地での開業支援事業等に取り組む、まちなか居住の推進や中心商店街の賑わい創出を進めてきました。

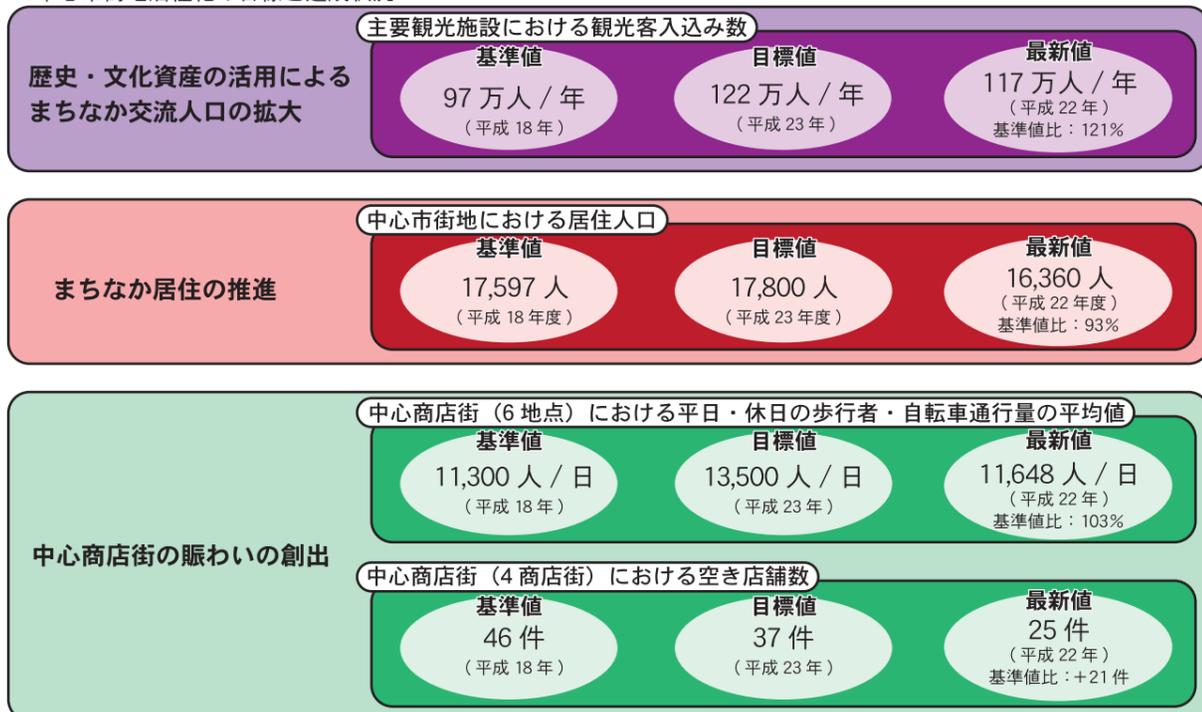
1 期計画の概要

計画期間：平成 19 年 11 月～平成 24 年 3 月（4 年 5 月）

区 域：約 340ha（平米・定塚・下関・博労・川原・成美の 6 地区と金屋町で構成）

事 業 数：92（完了：32、実施中：56、未実施：4、事業進捗率：95.7%）

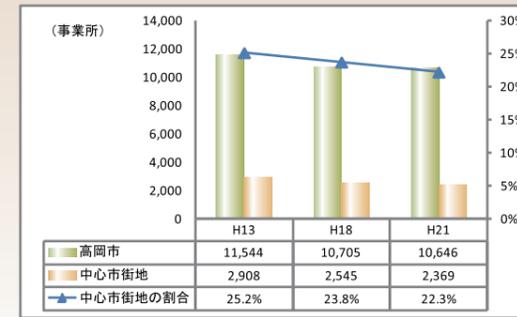
中心市街地活性化の目標と達成状況



都市機能の低下

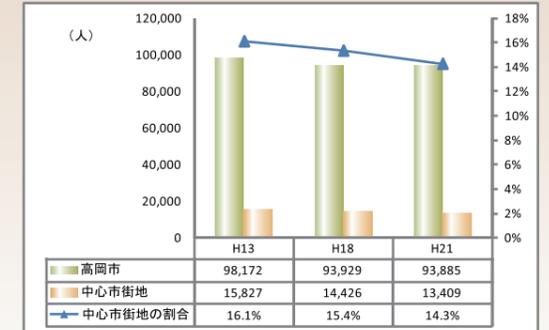
事業所数、従業者数は減少が続き、高岡市全体に占める割合も低下傾向にあります。こうした集積度の低下は、中心市街地だけでなく市全体の都市機能低下、活力低下につながることから、都市機能の向上を図る必要があります。

事業所数(全業種)の推移



出典：総務省「事務所・企業統計調査」、「経済センサス基礎調査」

従業者数(全業種)の推移



出典：総務省「事務所・企業統計調査」、「経済センサス基礎調査」

人口の減少

人口、世帯数ともに減少が続き、1 世帯当たりの人員も全市平均を下回っていることから、今後も更なる空洞化と活力の低下が懸念され、居住人口の増加を図っていく必要があります。

人口の推移



出典：住民基本台帳（各年3.31現在）

世帯数の推移

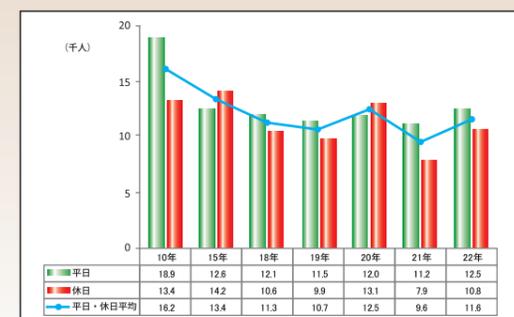


出典：住民基本台帳（各年3.31現在）

にぎわいの低下

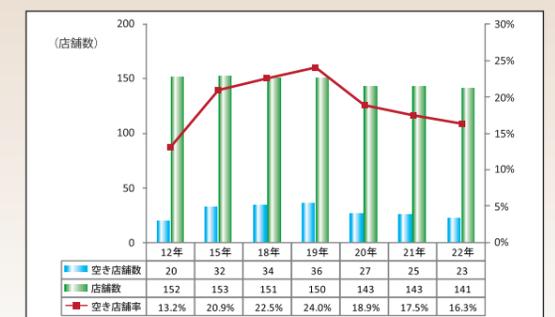
歩行者・自転車通行量の減少、空き店舗数の増加と長らく悪化が続いていました。第 1 期計画の推進により、改善傾向がみられるようになり、今後も更なるにぎわい創出に取り組んでいくことが重要であります。

中心商店街（6 地点）の歩行者・自転車通行量の推移



出典：高岡市商業観光課「歩行者・自転車通行量調査」

中心商店街（3 商店街）の空き店舗数・空き店舗率の推移



出典：高岡市商業観光課・末広開発(株)「空き店舗調査」

中心市街地の活性化を目指して

富山県で唯一の「都市機能と歴史・文化資産が融合するまち」として、高岡の保有する「歴史・伝統・文化・ものづくり」のイメージを基盤に、都市生活の向上が図られるまちづくりを推進します。

高岡市及び中心市街地の位置づけ ・富山市、金沢市は日常的生活圏内 ・東西の交通結節点 ・中心市街地の中心性希薄化 ・高齢化の著しい進展や、若年層、子育て世帯の流出 ・全産業の事業所数減少	歴史・文化資産の活用 ・指定文化財等が多数集積 ・歴史・文化資産を活かしたまちづくりへの期待度 ・観光地間の回遊性が弱く、滞在時間が短い	市街地の整備改善 ・域内で4つの再開発事業により拠点整備 ・防災街区等の施設の老朽化とリニューアルの困難さ	都市福祉施設の上 ・ウイング・ウイング高岡や子育て支援センターなど、比較的都市福祉施設が充足しており一定水準のサービスを提供	まちなか居住の推進 ・空き地、空き家が増加、人口減少の進展 ・まちなか居住者の高い満足度 ・空き地、空き家の点在による宅地開発の阻害	高齢化社会への対応 ・高齢化に拍車がかかることへの懸念 ・高齢者にとって安全で暮らしやすいまちなかへの期待	中心商店街の活性化 ・商業活動を表す指標はそのほとんどがマイナス ・中心商店街の拠点施設来街者のまちなかへの回遊性の期待	まちづくり会社の役割 ・賑わい創出事業の開催や開業促進など、中心市街地活性化への幅広い活動の実施 ・より一層の活動促進と創意工夫	公共交通機関の利便性増進 ・万葉線を除けば総じて減少傾向 ・北陸新幹線開業後、高岡駅は生活者のための機能に特化
---	--	--	--	--	--	---	---	--

《現状分析》

歴史・文化資産の保存と活用

- ・歴史・文化資産をトータル的に活用し、観光客が中心市街地や観光地を回遊する仕組みづくりの必要性
- ・観光地の魅力向上に繋がる核となる施設の整備とともに、高岡市歴史的風致維持向上計画と一体となった歴史都市高岡を創出する取り組みの必要性

住環境の整備によるまちなか居住の推進

- ・子育て世帯や高齢者に考慮した安全で快適なまちなか居住を推進するため、公共交通機関や歩行空間の整備や各種市の開催などの買い物機能の充実の必要性
- ・密集した町屋や狭隘な道路の整備に向けた土地利用の見直しや、安全で安心な居住地を創出する必要性

中心商店街の賑わいの創出

- ・まちづくり会社が関わり、商店街の魅力が向上する店舗誘致による空き店舗の解消を図る取り組みの必要
- ・商店街などと連携を進め、地域資源を活かしたイベント開催や歩いて楽しめるまちづくりなどの創意工夫の必要性
- ・事業所の誘致を進め、昼間人口の増加を図る必要性

便利で住みよく快適なまちづくり

光り輝くまちなかの創生

活力と賑わいあふれるまちづくり

世界に誇れる歴史・文化を生かしたまちづくり

《基本方針》

2期計画の方針

国の認定を受けた「高岡市歴史まちづくり計画」と一体となり、本市の特長である歴史・文化資産を活かした「歴史都市・高岡」の魅力強化を図るとともに、北陸新幹線開業を見据えた事業に取り組み、賑わいあふれるまちづくりを進めます。

計画期間：平成24年4月～平成29年3月（5年）

3つの目標

1 目標

歴史・文化資産の活用によるまちなか交流人口の拡大
(世界に誇れる歴史・文化を生かしたまちづくり)

世界に誇れる歴史・文化資産の保存と活用、更なる価値向上を図るとともに、北陸新幹線開業を見据えた回遊性向上に取り組み、観光客数を増加させます。

○主要観光施設における観光客入込み数(人)

117万人
(基準値：平成22年)

21万人増 (約18%増)

138万人
(目標：平成28年)

2 目標

まちなか居住の推進
(便利で住みよく快適なまちづくり)

まちなか居住支援制度の普及を図り、住宅供給の促進に取り組むとともに、居住環境の改善、生活支援関連事業の充実を通じて居住人口を増加させます。

○中心市街地における居住人口(人)

16,360人
(現状：平成23年3月末)

140人増 (約1%増)

16,500人
(目標：平成29年3月末)

986人減
(約6%減)

15,374人
(平成28年度末予測値)

1,126人増
(約7%増)

3 目標

中心商店街の賑わい創出
(活力と賑わいあふれるまちづくり)

利便性を向上させる都市基盤や公共施設の整備を進めるほか、高岡駅周辺整備や魅力あるストリート空間の創出に取り組みます。あわせて、高岡らしい商業空間の構築、伝統文化を活かしたイベント開催を通じて、賑わいを創出します。

○中心商店街(6地点)における平日・休日の歩行者・自転車通行量の平均値

11,700人
(現状：平成22年)

3,200人増 (約27%増)

14,900人
(目標：平成28年)

○中心商店街(3商店街)における空き店舗数

23件
(現状：平成22年10月)

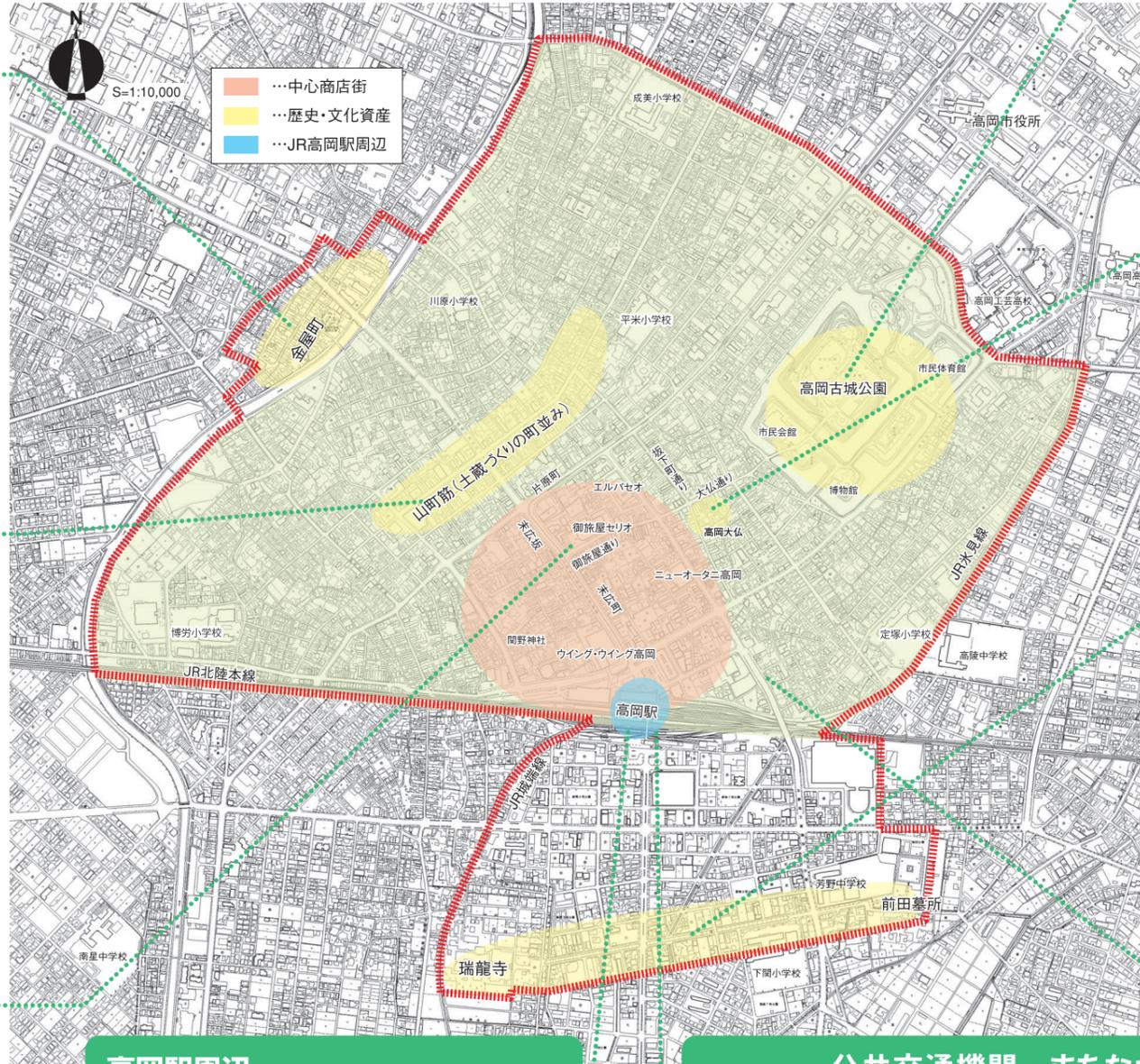
8件減 (約35%減)

15件
(目標：平成28年10月)

中心市街地活性化に向けて 取り組む主な事業

3つの目標を達成するために、第2期高岡市中心市街地活性化基本計画では、行政、市民、事業者、商業関係者や関係団体が一体となって、81の事業に取り組めます。
(平成24年3月現在)

中心市街地地区域 (約340ha)



金屋町

高岡市鋳物資料館を中心に金屋町や高岡銅器に関する歴史・文化を発信するほか、伝統的建造物の修理等への支援やイベントの充実を通じて金屋町の魅力向上を図ります。あわせて、観光駐車場等の便利施設を整備し、観光客の増加に努めます。



山町筋

重要有形・無形民俗文化財の高岡御車山の通年見学が可能な拠点施設の整備や、高岡伝統工芸の粋を集めた平成の御車山制作を進めるとともに、伝統的建造物の修理等への支援により、山町筋の魅力向上と観光客の増加に努めます。



中心商店街

高岡の「顔」として魅力ある賑わい空間が提供できるよう、開業や既存店舗のリニューアル等への支援により、魅力ある商業拠点づくりを支援するほか、季節ごとの特徴ある大型イベントの開催や定期的なイベント実施により、来街機会の増大を図ります。あわせて、昼間人口の増加のため、オフィス誘導を図ることにより、賑わいの創出に努めます。



高岡駅周辺

平成23年8月に供用開始した南北自由通路に加え、万葉線のJR高岡駅への延伸や駅前広場の整備、ステーションビルの建設及び駅地下街のリニューアル等に一体的に取り組むことにより、高岡駅の拠点性を高め、利用者の利便の向上と賑わいの創出を図ります。



公共交通機関・まちなか回遊

万葉線のJR高岡駅への延伸を行うほか、まちなかでの生活に便利なコミュニティバスの運行を支援し、交通利便の向上を図ります。また、移動に便利なレンタルサイクルの整備や、高岡らしい風情や情緒を楽しみながら散策できるまちづくりを進め、まちなかの回遊性向上に努めます。



高岡古城公園

園路整備や施設の改修等により、都市公園としての快適性、利便性の向上を図るとともに、国指定史跡に向け高岡城跡の詳細調査を実施し、学術的価値を高め、観光資源としての更なる魅力向上に努めます。



高岡大仏周辺

JR高岡駅～末広町・御旅屋通り～高岡大仏・坂下町通りに至るルートで特徴あるストリート形成を進め、まち歩きを楽しむ空間形成を図るとともに、坂下町通りの修景等を支援することにより、高岡大仏周辺の景観向上及び観光客増加に努めます。



瑞龍寺・八丁道・前田利長墓所周辺

高岡を代表する歴史資産である国宝瑞龍寺の保存・修理とともに、ライトアップ事業などの誘客事業を促進するほか、北陸新幹線新駅からの回遊性向上のため、道路・景観整備を進めます。また、国指定史跡前田利長墓所の保存・修理を行うことにより、瑞龍寺～八丁道～前田利長墓所の観光客増加に取り組めます。



まちなか居住

戸建住宅の新築・取得及び分譲マンションを取得する人、また、賃貸及び分譲マンションを整備する事業者に対して支援を行うとともに、朝市・夕市などの開催による買物利便性の向上や、学習、文化、子育て支援施設等の都市福利機能の充実を通じて住みよい環境の整備を進め、まちなか居住の促進に努めます。

